

経営比較分析表（平成28年度決算）

福岡県公立八女総合病院企業団 公立八女総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 大学院出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	29	対象	ド透訓方	救臨が地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
-	21,147	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

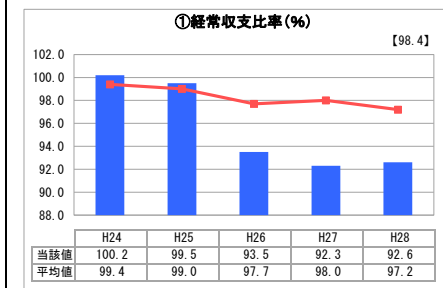
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
300	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	300
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
300	-	300

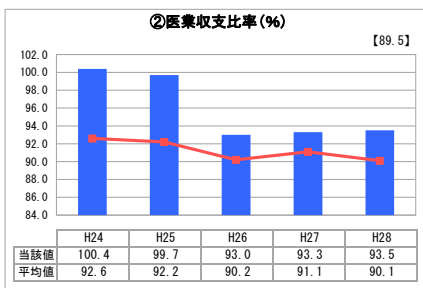
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】平成28年度全国平均

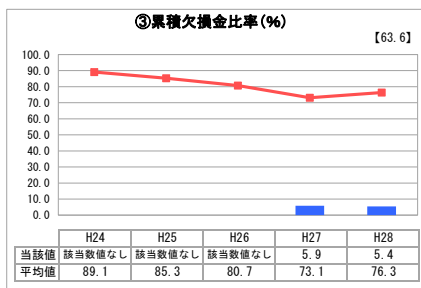
1. 経営の健全性・効率性



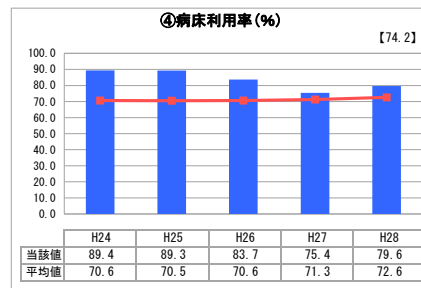
「経常損益」



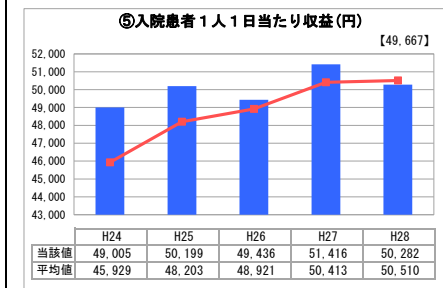
「医業損益」



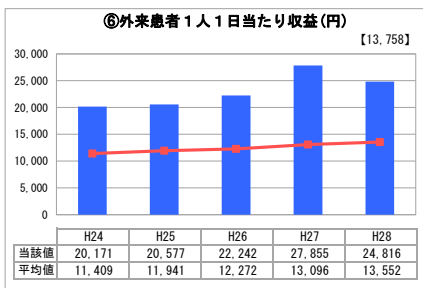
「累積欠損」



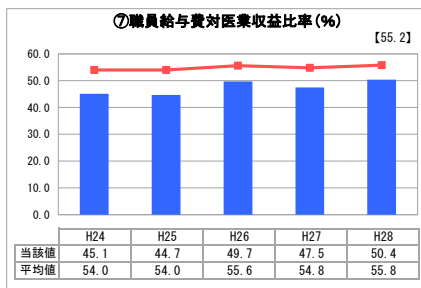
「施設の効率性」



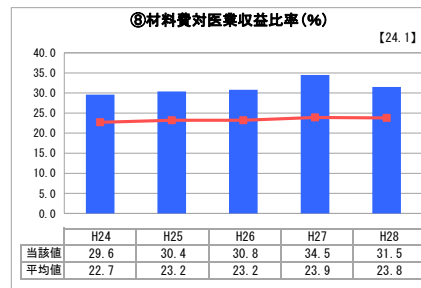
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

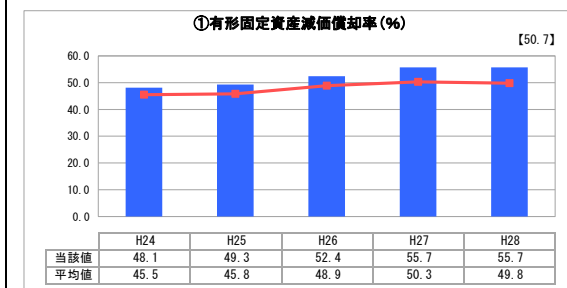


「費用の効率性①」

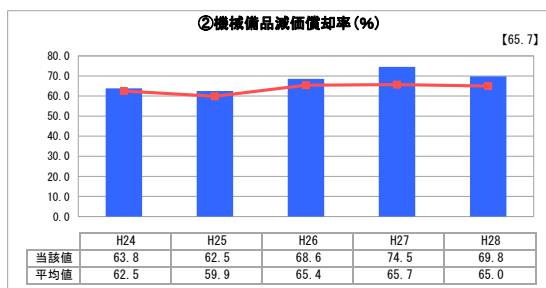


「費用の効率性②」

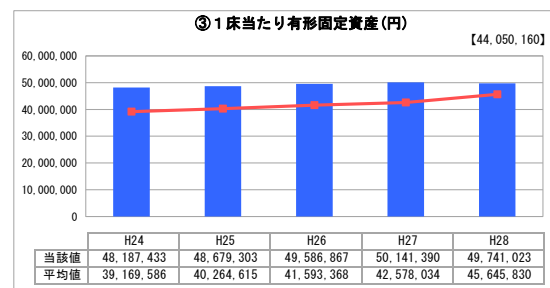
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

公立八女総合病院は八女筑後医療圏において、がん診療、救急医療、周産期医療、生活習慣病医療(予防・治療)を中心とした医療サービスを提供している。
また、地域医療支援病院として地域医療機関との連携・協力関係を強化するとともに、地域全体の医療水準の向上を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成26年度から平成28年度までは、経常収支比率及び医業収支比率は、93%程度で推移しているが、累積欠損金比率は低水準であり、財政状態の健全性は保たれている。

外来患者1人1日当たり収益は、院内処方を行っていることから、類似病院平均より高くなっている。このため、材料費対医業収益比率についても、薬品費が高くなり、類似病院平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

本院は建業後25年、管理棟は45年が経過しており、施設の狭隘化が顕著となっている。有形固定資産減価償却率が示すとおり、老朽化も進んでいるため、施設の再整備を検討している。

全体総括

財政状態の健全性は保たれており、新公立病院改革プランに基づき、今後も地域において担っている役割を果たしつつ、収支改善に取り組んでいる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成28年度決算）

福岡県公立八女総合病院企業団 みどりの杜病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床未満	自治体職員 大学病院出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	2,418	第2種該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

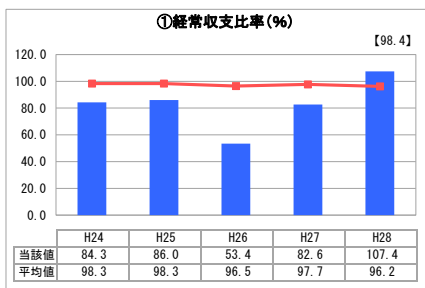
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
30	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	30
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
30	-	30

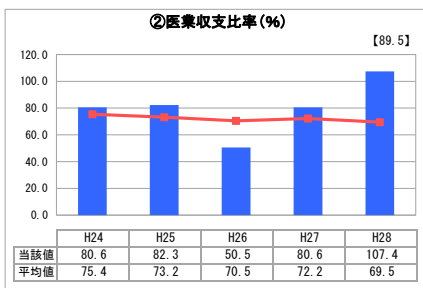
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

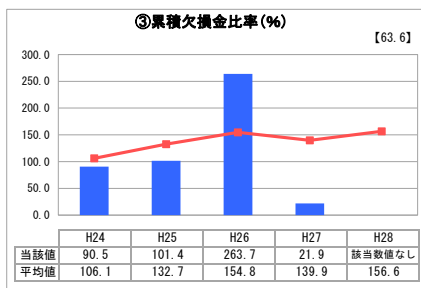
1. 経営の健全性・効率性



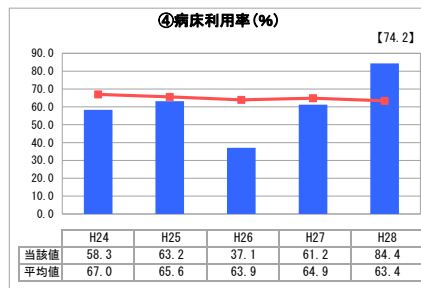
「経常損益」



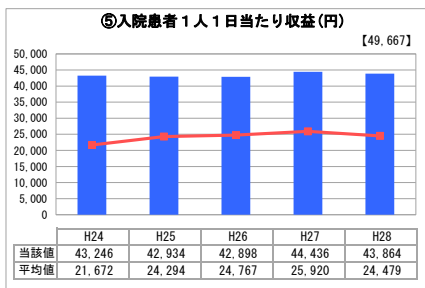
「医業損益」



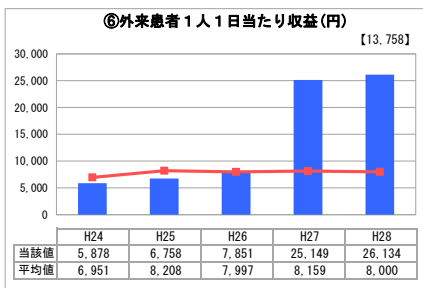
「累積欠損」



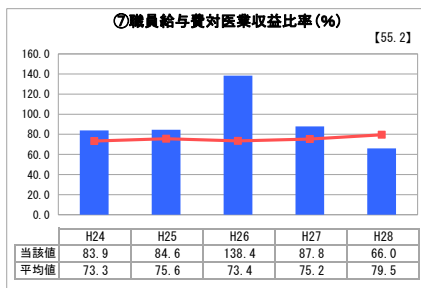
「施設の効率性」



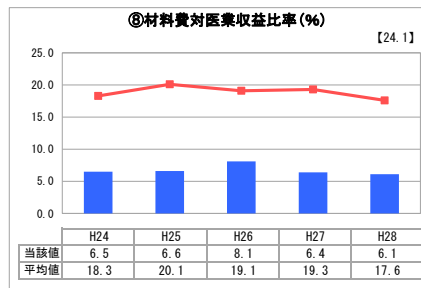
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

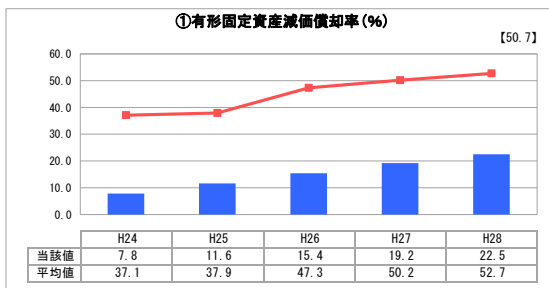


「費用の効率性①」

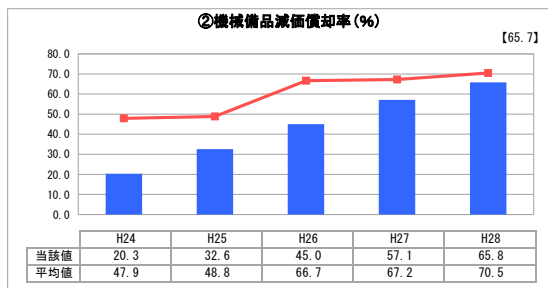


「費用の効率性②」

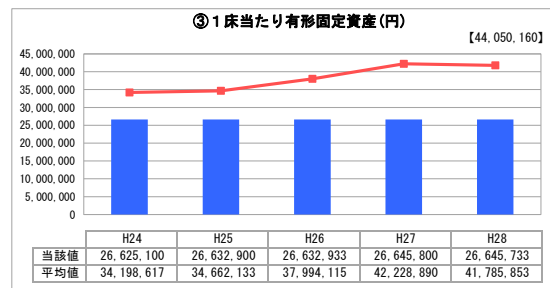
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

みどりの杜病院は八女・筑後地域における緩和ケア医療の中心的役割を担っている。がん患者を対象とした入院および外来診療に加え、在宅療養支援病院として主に末期のがん患者を対象に訪問診療を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

安定した診療体制を構築し医業収益を確保したことで、平成28年度に黒字化を達成し、累積欠損金も生じていない。

2. 老朽化の状況について

開院より7年が経過しているが、老朽化はそれほど進んでいない。耐用年数を過ぎた設備や器械については計画的に更新を行う予定である。

全体総括

平成28年度において、安定した診療体制を構築したことに加え経費削減を行ったことで黒字化を達成できている。今後も地域の緩和ケア医療の中心的役割を担いつつ、良好な病院経営を継続する。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。